

類別: 機械器具 1 6 体温計 管理医療機器 一般的名称: 電子体温計 (JMDN コード 14032010)

n i c o j a 電子体温計 NK 8 0 8 0

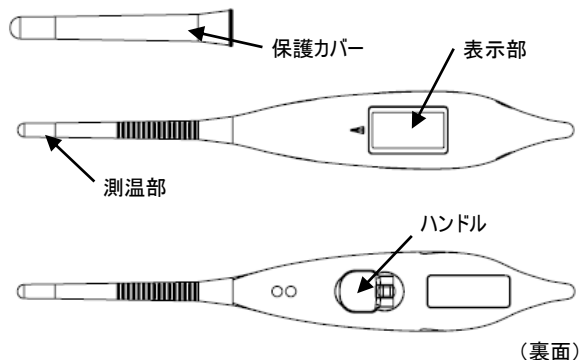
【禁忌・禁止】

(電子体温計を適正にご使用いただくための注意事項です。)

- ・検温結果の自己診断、治療は危険ですので医師の指導に従ってください。
- ・人の体温測定以外に使用しないでください。

【形状・構造及び原理等】

1. 主要部の形状と名称



標準付属品

保護カバー 1 個

2. 本体寸法及び質量

外形寸法 : 約 1 5 9 (長さ) × 2 4 (幅) × 3 0 (厚さ) mm

質 量 : 約 2 3 g

3. 測温機能

- 1) 最高温度保持機能: 実測した最高温度値を保持し一定時間表示する
- 2) デジタル表示 : 実測した体温をデジタル表示する
- 3) 最大許容誤差 : $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ 以下
※標準室温 23°C にて、恒温水槽で実測測定した場合
- 4) 電源電圧 : $\pm 0.2^{\circ}\text{C}$
- 5) 応答特性 : 30 秒以内
- 6) 防 浸 : $\pm 0.1^{\circ}\text{C}$ 以下
- 7) 測温範囲 : $32.0 \sim 42.9^{\circ}\text{C}$
- 8) 最小表示単位 : 0.1°C
- 9) 測温範囲外告知 : 「Hi」又は「Lo」を表示する

4. 電気的定格

定格電圧 : 手回し発電機 (蓄電用コンデンサに充電)

DC 5. 5 V

電撃保護 : 内部電源機器 (A : B 形装着部)

5. 作動・動作原理

測温部にあるサーミスタが温度により、電気的抵抗値が変化する特性を応用して、抵抗値の変化を集積回路で演算処理し、体温として表示部に表示します。

EMC 適合 本製品は EMC 規格 EN60601-1-2:2007 に適合しています。

【使用目的又は効果】

本製品は、サーミスタ式の電子体温計です。

体温計の測温部を腋下 (わきした)、舌下 (口中) に接触させて、人の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示します。

【使用方法等】

1. ハンドルを起こして回し (6 ~ 8 回)、蓄電用コンデンサに充電します。
2. 「 188.8°C 」、「 36.5°C 」の表示に続いて「 $L o^{\circ}\text{C}$ 」が表示されたら (℃点滅) 測温部を腋下又は舌下に密着させ、測定してください。

表示されない場合は蓄電不足の為、使用することができません。

3. 測定が完了するとブザー音が鳴り、「℃」の点滅がとまります。(より正確に検温するときは、腋下で 3 分以上、舌下で 2 分以上続けて検温してください。)
4. 測温部を腋下又は舌下から取り出し表示部の体温を確認します。
5. 測定が終わりましたらそのまま放置し、蓄電量が低下すると電源が自動的に切れ、表示が消えます。
再度測温する場合は、約 3 0 秒の温度表示後、測温モードに入る為、継続して測温することができます。蓄電不足により表示が消えた場合は、再度ハンドルを回転させ蓄電を行ってください。
・詳細については取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

1. 検温中、測温部を検温する部位に密着させるように固定し、空隙はつからないようにしてください。また大幅に動かさないでください。
2. 入浴後、飲食後、運動後は、比較的激しく体温が上昇しますので、30 分以上あけてから検温してください。
3. 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけでのご使用はさけてください。
4. 周囲温度 $10 \sim 40^{\circ}\text{C}$ 、湿度 $30 \sim 85\%$ の範囲で使用してください。

【保管方法及び有効期間等】

次のようなところに保管しないでください。

- 1) 水のかかるところ。
- 2) 高温・多湿、直射日光、ホコリ、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
- 3) 傾斜、振動、重圧、衝撃 (運搬時を含む) のあるところ。
- 4) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。

【取扱い上の注意】

1. 測温部は防浸ですが、表示部は防浸ではありません。本体を水につけないでください。
2. 本体を強く引っ張ったり、極端に曲げたり、落したり強い衝撃を与えないでください。
3. 本体を噛まないでください。

【保守・点検に係る事項】

1. 故障した場合は勝手に修理、分解せず、お客様サービス窓口にご連絡ください。
2. 分解・改造・修理は絶対に行わないでください。
3. 本製品に水や化学薬品をかけないでください。
4. 本体の汚れを落とすときは、布等を水又はぬるま湯に浸し、よく絞ってから拭き取ってください。
5. 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし後、洗剤をよく拭き取ってください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

日光精器株式会社 滋賀工場

〒 523-0022 滋賀県近江八幡市馬渕町 2660

TEL : 0120-250-846

製造国名: 日本